

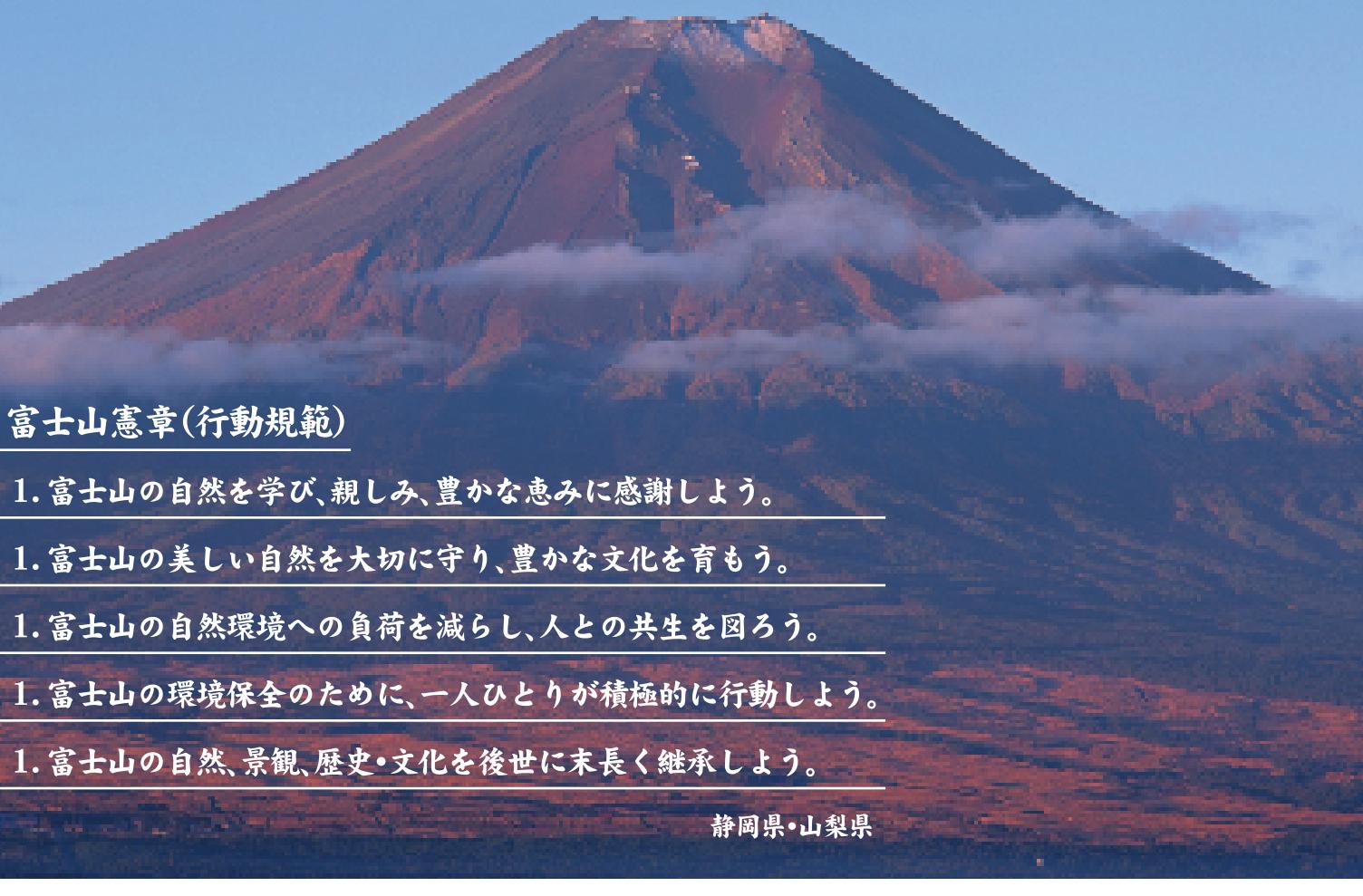


ふじさんネットワーク

FUJISAN
NETWORK

URL/<http://www.fujisan-net.gr.jp/>

VOL.12



富士山憲章(行動規範)

1. 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
1. 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
1. 富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
1. 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
1. 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

静岡県・山梨県



目 次

Contents

特集 ”本当の富士山を知っていますか”

- 富士山のゴミ対策の現状と課題
- 富士山トイレの整備状況と今後の展開

トピックス ”富士山憲章制定5周年記念フォーラム”

- 富士山憲章制定5周年記念フォーラム
- 富士山ピンバッジ

活動報告 ”富士山エコレンジャー活動”

- 富士山の環境保全への取組

事務局通信

- コラム ”もっと富士山の水を大切にしませんか”
- 富士山みがきあげ作戦参加者募集中

特集

本当の富士山を知っていますか。

富士山はよく「ゴミの山」「世界一汚い山」などといわれていますが、本当にそうでしょうか。

実際に富士山に登ってみると、五合目以上の登山道にはほとんどゴミが見当たらないことに気付きます。また、ゴミを拾いながら登下山している人も見かけます。山小屋トイレも、これまでの放流・浸透処理のトイレから、環境にやさしい自己完結型トイレに変ってきてています。

私たちがよく耳にする富士山のイメージは、本当にいまの富士山の姿なのでしょうか。本当の富士山の姿を知るため、富士山のゴミやトイレの現状と課題、そしてこれからの取組みについて紹介します。

○ 富士山のゴミ対策の現状と課題

富士山のゴミ問題は、長年、地道に富士山の美化活動に取組んでいる多くの方々の力により、徐々に改善されてきています。

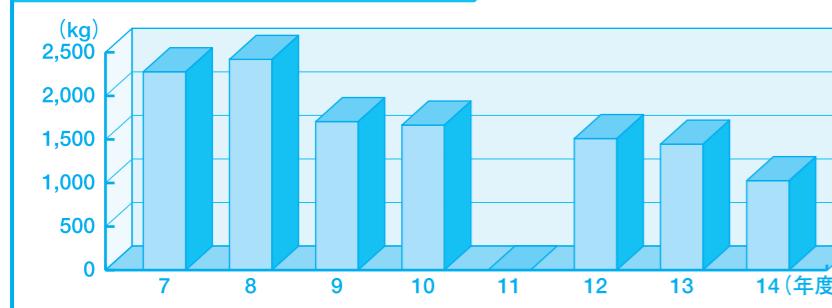
ふじさんネットワークでも、昨年度から、登山者等へのマナー指導を行う富士山エコレンジャー活動をはじめたほか、地元の企業・団体等の参加のもと「富士山みがきあげ作戦」として富士山裾野のゴミの実態調査とゴミを捨てさせない方法の検討・提案に取り組んでいます。

ふじさんネットワークをはじめ、国・県・市町など関係者が連携して、富士山を訪れる方のマナー向上やゴミ持ち帰りの啓発活動として、

- ・富士山エコレンジャーによる登山者等への直接的なマナー指導の実施
- ・山小屋と連携した登山者等へのマナー指導の実施、啓発ポスターの掲示
- ・旅行業者、バス会社と連携した登山者等へのマナー指導の実施、シャトルバス車内啓発ビデオの放映
- ・カントリーコードの普及強化などに取組んでいます。

このようなボランティア、企業、行政等の清掃活動や富士山エコレンジャー活動などの長年の活動により、その成果が着実に表れています。

富士山一斉清掃の集積量の推移グラフ



富士山一斉清掃の推移
富士宮口、御殿場口、須走口の五合目以上で実施した清掃実績。(毎年8月第3日曜日に実施)

富士山のゴミ問題が大きく改善されつつある今、私たち1人1人がマナーを守り、できることを確実に実践し、今よりも美しい富士山を未来の子供たちに引き継ぎましょう。

●富士山一斉清掃（富士山をいつまでも美しくする会・事務局 富士宮市、御殿場市、小山町の持ち回り）

富士山の一斉清掃は、昭和54年静岡県知事（山本敬三郎）の提唱により「富士山を一度徹底してきれいにする会」を発足し、同年8月にクリーン作戦を実施したのをきっかけに本格的な活動が始まりました。昭和55年から継続して美化推進を行う機関として「富士山をいつまでも美しくする会」を発足し、富士宮登山口支部、御殿場登山口支部、須走登山口支部にて、清掃事業を継続的に実施しています。

○ 富士山トイレの整備状況と今後の展開

富士山トイレの現状

富士山のトイレの現状は、夏期の集中利用に加え、寒冷な気候、強風、雪崩等の厳しい気象、地形・地質、水や電気が期待できないことなどの厳しい条件により、放流・浸透による処理方法が依然として存在しており、山肌にし尿とともに放流されてこびりついたティッシュペーパーや悪臭など好ましくない現象が指摘されています。

このような状況の中、静岡県では、平成8年度から調査・検討をはじめ、平成10年度には学識経験者、山小屋関係者、行政等で構成する「富士山トイレ研究会（委員長 岩堀恵祐 静岡県立大学教授）」を発足し、各種の処理方式による実証実験を開始し、富士山にふさわしいトイレのあり方について検討を行ってきました。

富士山におけるし尿の放流・浸透処理をなくすため、平成14年1月に出された最終報告を踏まえ、平成14年度から富士山の山小屋トイレに環境にやさしい自己完結型トイレを導入しています。



トイレの内部

富士山トイレの整備状況

今までに、富士宮口5箇所、御殿場口4箇所、須走口4箇所の計13箇所の山小屋トイレに、環境にやさしい自己完結型トイレが導入されました。

利用者の感想も「バイオトイレは、清潔で臭いもなく感心した」「富士山ではトイレに行かないつもりだったが、清潔なトイレで安心した。これなら有料でも仕方ないと思った」など非常に好評です。

富士山の公衆トイレは、富士宮口、御殿場口、須走口の五合目の3箇所と山頂の1箇所のみであることから、公衆トイレの役割を担う山小屋トイレについて、平成16年度を目標に全て整備し、富士山におけるし尿の放流・浸透をなくす計画です。

富士山の「白い川」の解消ももう間近です。



平成15年度新たに整備されたトイレ

富士山トイレ整備計画

	富士宮口	御殿場口	須走口	計
⑭整備			3	3
⑮整備	5	4	1	10

山小屋の整備状況
平成15年度までに13件整備し、平成16年度までにすべての山小屋トイレを整備する計画。

●富士山でトイレを使ったら必ずチップを払いましょう。

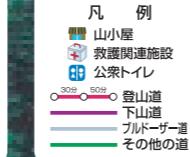
富士山の自己完結型トイレは、燃料やトイレットペーパーのほか、厳しい気象条件の中で処理能力を適切に発揮するための維持管理費がかかります。

富士山でトイレを使ったら必ずチップを払いましょう。

※登山するときあらかじめ小銭を用意しておくと便利です。

富士山トイレ整備マップ

☺富士山のゴミとトイレのお約束☺
 ☺トイレを利用するときは、チップを負担しよう!
 ☺トイレットペーパーなどの水解(溶)性の紙を使用しよう!
 ☺使用済みペーパーの分別に協力しよう!
 ☺ゴミは必ず持ち帰ろう!
 ☺便槽の中にゴミを捨てない、また落とさないように気をつけよう!



FUJISAN NETWORK

VOL.12

トピックス

☆ あなたは富士山のために何ができますか

★ 富士山憲章制定5周年記念フォーラム

日本の象徴である富士山の豊かな自然環境・景観を保全し、その恵みを将来に継承していくための全国的な運動の原点となる「富士山憲章」を静岡・山梨両県で制定し、本年は5周年の節目の年を迎えています。そこで、富士山環境保全についてこれまでの成果を踏まえ、憲章制定10周年に向け、今後5年間の取り組みの方向を共有し、全国的な運動として展開するために開催します。

美しい富士山を未来の子どもたちに引き継いでいくため、あなたも富士山の環境保全について一緒に考え、この活動の輪に参加しましょう。

■ 開催概要

○ 日時 平成15年11月19日(水)～20日(木) ○ 会場 富士宮市民文化会館(静岡県富士宮市宮町14番2号)

■ 第5回全国山岳トイレシンポジウム(11月19日)

山岳トイレ問題の重要性について関係者の理解の浸透、国、地方公共団体の支援措置、山岳トイレの技術進展等を受け、全国各地での山小屋トイレの改善が急速な進展を見せており、山でのし尿処理システムの維持管理と費用負担、技術開発の可能性を踏まえ、山のトイレ整備のあり方等を明らかにします。

- ・基調トーキング：「山のトイレ問題を展望する」
- ・基調報告：「富士山トイレの現状報告」～トイレ改善に伴う三つの効果～
- ・こどもレポート：「富士宮小学生による富士山トイレ調査報告」
- ・分科会：(第一分科会：インフラなき山岳地でのトイレ対策・技術の可能性) (第二分科会：山でのし尿処理システムの維持管理と費用負担)
- ・総括討論：「山のトイレ整備のあり方と費用負担の方向」

■ 富士山憲章シンポジウム(11月20日)

富士山憲章5年間の歩みを振り返り、成果を確認するとともに、今後の課題を明らかにした上で、憲章10周年に向け、富士山環境行動宣言の合意形成と全国への参加と支援の呼び掛けを行います。

- ・第1部：大討論「ゴミ・湧水・森・観光」
 - ア. 報告「国立公園としての富士山の現状と課題」 イ. 分科会 4つの分科会に分かれて議論
- ・第2部：「おーい!富士山」
 - ア. 「富士山オピニオン」の表彰と発表 イ. 講演「世界自然遺産候補地に関する検討からみた富士山の課題」 ウ. 「富士山学習発表会」(劇)
- ・第3部：「われらの富士山環境行動宣言」

憲章10周年を目指した富士山環境行動宣言の呼び掛け

※内容については一部変更することもあります。

○ メールマガジン登録案内

ふじさんネットワークでは、会員活動、イベント情報の他、富士山に関する多くの情報などを提供するメールマガジンを配信しています。

現在、ふじさんネットワークホームページ上で登録を受け付けていますので、ぜひ登録して購読してください。

○ 新会員の紹介

4月～9月の間に36の団体・個人が加入了しました。

- ・沼津観光協会、HMエコテクノロジー社、三島ゆうすい会、富士地区地学会、富士宮市観光ガイドボランティアの会、NIC、愛峰山の会、美花里自然教室、(株)ホテル米山館、奥多摩ナチュラリスト協会、(株)トーセイコーポレーション、ピース産業(株)、まちづくりセンターSAPOクラブ、(株)奥平測量設計事務所、ポリプラスチックス(株)富士工場、十六夜文庫、静岡ゼロックス(株)ほか19個人。(入会順)
- ・現在、富士山エコレンジャー活動や富士山みがきあげ作戦に取り組んでいます。

富士山ピンバッジ～あなたも富士山の環境保全に協力しませんか～

- ・「富士山憲章」の周知・定着を図り、富士山の環境保全への関心を高めてもらうため、ふじさんネットワークの環境保全活動への寄付を募るとともに、富士山ピンバッジを配布します。是非ご協力ください。
- ・1口300円以上お好きなピンバッジを1個プレゼント(1000円以上募金されると花シリーズを5個セットにしてプレゼント)



活動報告

富士山エコレンジャー

富士山には、7~8月の開山期に集中して多くの登山客・観光客が訪れています。しかし、多くの来訪者によるゴミの投げ捨て、トイレの使用、登山道を外れて歩くことによる植生の踏み荒しなど環境への影響が懸念されています。このため、ふじさんネットワーク有志により「富士山エコレンジャー」を組織し、来訪者に対して富士山の実情に応じたマナー指導、安全な登山指導や自然・文化などへの理解を深める情報提供などの活動に取組んでいます。

今後も、富士山憲章の周知・定着と、富士山の豊かな自然環境を後世に末長く引き継いでいくための活動を進めていきます。

○ 富士山エコレンジャー活動

ふじさんネットワーク会員の中から活動に必要な法制度等の研修を受けた者が富士山エコレンジャーとして登録・活動をしています。平成15年度は105名が富士山エコレンジャーとして登録し、活動を行っています。

富士山エコレンジャーの活動内容は、

- ・来訪者へのマナー指導
(トイレの使用マナー、ゴミの持ち帰り等)
- ・安全な登山に対する指導
- ・自然解説

などです。

また、富士山スカイラインのマイカー通行規制期間中には、シャトルバスに添乗して活動を行っています。

さらに、今年は、最近増えている外国人来訪者へ対応するため、英語・ポルトガル語・韓国語の富士山マーカードを作成し、活動しています。

「富士山エコレンジャー」は、来訪者に対し、高圧的な指導をするのではなく、解決を求め、自発的な行動を促し、これからの富士山の環境保全のため、また、富士山を訪れた人が安全・快適に富士山を楽しめるように活動ていきます。



活動中の「富士山エコレンジャー」(写真中央)
マナー啓発活動だけでなく、山頂までの所要時間や植物の名前など様々な質問へ対応します。



7月12日、富士山富士宮口登山道五合目レストハウス屋上での発会式
ふじさんネットワーク会長より富士山エコレンジャーに
身分証明書と腕章が手渡されました。



エコレンジャーのコメント

NPO法人 富士山自然の森づくり 事務局長 仁藤 浪

富士山エコレンジャーは自然が好き、富士山が好きな仲間の集まりです。富士山に来訪する多くの人たちが、富士山の自然の素晴らしさを体験していただき、楽しく良き思い出になって欲しいと願い誠心誠意接し、“知ってよかった”“聞いて良かった”に努め“うるさい”“わざわざしい”にならないように心がけています。

主に富士山の実情に応じたゴミ・トイレなどのマナーや安全な登山山へのお願い、自然・文化などへの理解を深める情報提供、またマイカー規制期間中はシャトルバスに添乗し富士山について説明をさせていただいているが、私たちはあくまでも“お願いの立場”であることを忘れず、皆さんと共に富士山の環境を大切にしていると活動を続けていきます。



富士山エコレンジャー～この夏の活動を振り返って～

(富士山エコレンジャー活動報告より抜粋)

●来訪者から良く受けた質問

- ・山頂や各山小屋までの所要時間
- ・トイレの場所
- ・植物の名前
- ・宝永遊歩道のルートについて



☆腕章や身分証明書を付けているからか、質問、説明を求められることが多いです。

☆注意、説明にはほぼ理解し、聞き入れてくれました。

☆活動中、いろいろな方から声をかけていただきました。



活動中の「富士山エコレンジャー」(写真左)

外国人登山者に対してもマナー啓発活動及び登山の相談にも乗ります。

●目立った来訪者の行為・行動

- ・サンダル履きなど軽装での登山

- ・登山道以外での登下山や休憩

- ・ペットの連れ込み

●そのほか活動時に気付いたこと

- ・登山道にはほとんどゴミはないが、駐車場や富士山スカイライン沿いにゴミが多く見られる。
- ・案内標識やロープなどに不備が見られた。
- ・ペットの連れ込みなど事前の周知が必要だと感じた。

「富士山エコレンジャー」の登録・活動に関する問合せは

静岡県環境森林部環境政策室内「ふじさんネットワーク事務局」まで

電話:054-221-3776 / フックス:054-221-3665

e-mail 3776@fujisan-net.gr.jp



コラム“もっと富士山の水を大切にしませんか”

富士山は「水の山」といわれています。富士山には年間約25億トンの雨が降り、1日当たりの湧水量は約530万トンという豊富な地下水・湧水を蓄えています。

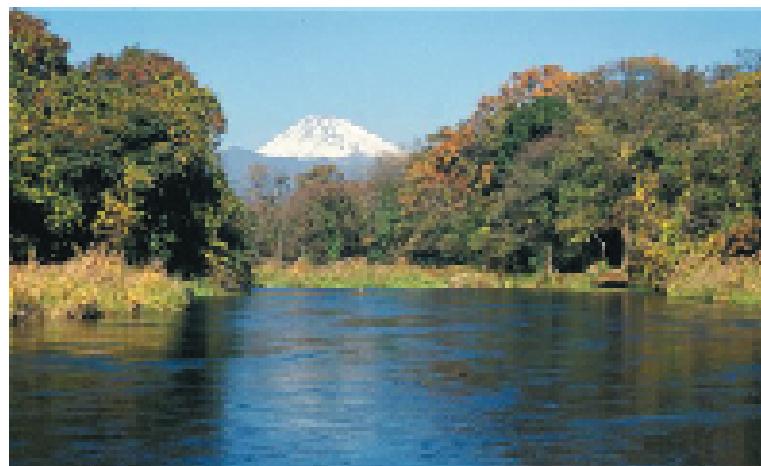
ところが、かつて富士山南東麓に沢山あった豊富な湧水も現在ではほとんど枯れてしまいました。その中で最大の湧水量を誇る柿田川は年間を通じて枯れることはありませんが、湧水量は年々減少しているのです。

1999年の国土交通省と静岡県のデータによると、富士山南東麓の生活用水は、全国平均の1.35倍使用しています。工業用水も全国平均を上回っています。

これをせめて全国平均にすることができれば、三島の小浜池などの湧水も湧いてくるかもしれません。

富士山のことを思うだけではなく、少しでも私たちが富士山のためにできる事を着実に実践しませんか。

まずは、家庭でも事業所でもみんなが節水を心がけ、富士山の恵みである地下水・湧水を大切にしましょう。



写真提供：(財) 柿田川みどりのトラスト

事務局からのお知らせ

富士山みがきあげ作戦 参加者募集中！

- ふじさんネットワークでは、「私たちの手でみがきあげよう富士山～日本一きれいな山～」をテーマに、地元の企業、団体等様々な人の参画を得ながら、ゴミの実態調査を行い、どうすればゴミをなくせるか考えることにより、富士山を裾野からみがきあげ、日本一きれいな山を目指します。
- 活動内容は、ゴミの実態調査（「調べる」「考える」）⇒ゴミを捨てさせない方法の検討・提案。
- 富士山裾野の4市1町（富士宮市、富士市、御殿場市、裾野市、小山町）内の富士山五合目以下の道路等を中心に活動を実施。
- 現在、参加者を募集しています。詳細は事務局までお問い合わせ下さい。
- 活動の取組み状況等については、ふじさんネットワークホームページにも掲載しています。ぜひ、ご覧下さい。

<http://www.fujisan-net.gr.jp/fuji/02.htm>



2003年10月 vol.12

編集・発行／ふじさんネットワーク事務局

静岡県環境森林部環境政策室富士山浜名湖スタッフ内

〒420-8601 静岡県静岡市追手町9番6号 TEL 054-221-3776 FAX 054-221-3665

e-mail 3776@fujisan-net.gr.jp URL <http://fujisan-net.gr.jp/>

ふじさんネットワーク

・設立 平成11年10月23日

・会長 土 隆一

(静岡大学名誉教授)

・会員数 295団体 (H15.9.26現在)